



活用例やセキュリティリスクを知りたい方へ

# 生成AIを企業利用するなら知っておくべき Azure OpenAI Serviceとは

# はじめに

ChatGPTを含む生成AIは、世界各地で急速に普及し国内でも利用者が急増しています。

今後、生成AIの利用は企業活動において必須になるともいわれていますが、国内では利用に消極的な企業や、逆に生成AIを使用禁止にしている企業もあります。「活用のイメージが湧かない」「どんなリスクがあるか分からない」といった声が多く、利用してみたいけど導入を踏みとどまっているという企業も多いのではないのでしょうか。

本資料は、生成AIをビジネス利用したい方に向けて、生成AIが抱えるリスクや対策、また最適な活用方法や活用例について解説していきます。

## CONTENTS

<b>生成AIをビジネスで活用できる？</b>	2
生成AIとは？	3
生成AIのビジネス活用状況	4
生成AIを安心してビジネス利用するには？	5
<b>Azure OpenAI Serviceなら安全にChatGPTを利用できる</b>	6
Azure OpenAI Serviceとは？	7
そもそもAzureとは？	8
構成イメージ	9
Azure OpenAI Serviceで何ができる？	10
Azure OpenAI Service活用例①ドキュメント検索	11
Azure OpenAI Service活用例②音声検索	12
まずは社内で使ってみよう	13
<b>Azure OpenAI Serviceに関するテクバンの役割</b>	14
テクバンのAzure OpenAI Service導入支援サービス	15
簡易PoC 環境構築支援 作業の流れ	16

# 構成イメージ

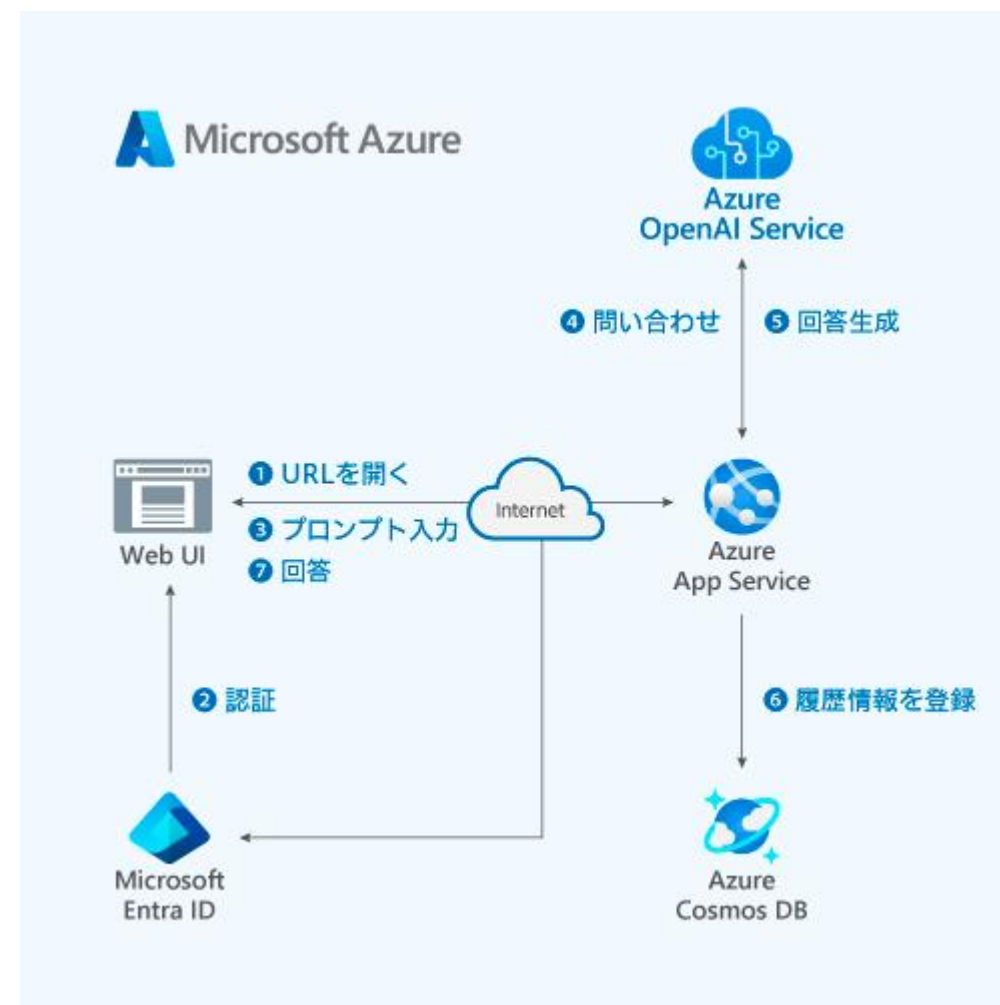
## Azure OpenAI Serviceの関連サービス

Azure OpenAI Serviceは、様々なサービスや強化したいセキュリティ機能と組み合わせることが可能です。

右図は、企業内向けチャット環境を構築する場合の簡単な構成イメージです。

- Azure App Service：アプリを動作させるサービス
- Azure Cosmos DB：NoSQLデータベースサービス
- Microsoft Entra ID：ID/アクセス管理サービス

パブリックな環境で提供されているChatGPTとは異なり、Microsoft Entra IDによって、企業内ユーザーに限定した環境で利用することができます。



# Azure OpenAI Serviceで何ができる？

---

## 参照元となるデータベースや他サービスとの連携で活用の幅が広がる

Azure OpenAI Serviceは、どのデータソースと連携させるかが重要です。

Azure OpenAI Serviceは、文書生成や翻訳、分析など様々なことができますが、それらを含めいわゆる質疑応答ができるチャットボットとして使いたいだけであれば、Copilot (旧 Bing Chat Enterprise)でも実現可能です。Azure OpenAI Serviceと同じようにGPT-4をセキュアな環境で利用できます。

Azure OpenAI Serviceは、高性能なAI機能を持っているだけに過ぎません。自社の業務を学習、展開させることで最大限の効果を発揮します。

次項から、Azure OpenAI Serviceを自社のデータベースや他サービスと連携させ、業務に活用している例をご紹介します。